

1 単元の見目標

- 不思議な出来事に対する「ぼく」の行動や会話などの叙述の変化に着目して、「ぼく」の気持ちの変化や成長について読むことができる。
- 文章を読んで理解した「ぼく」の気持ちの変化や成長に基づいて、考えをもつことができる。
- 文章全体の構成や「ぼく」に起きた不思議な出来事の大体を意識しながら音読することができる。

2 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識及び技能
・物語の中で起こる出来事に興味をもって読もうとしている。	・各場面で出来事がどのように起こっていくかを押さえ、場面の移り変わりとともに登場人物の行動や気持ちに変化していることを理解して読んでいる。(1)エ ・友達の発表を聞いて、自分の感じ方と違いがあることに気づいている。(1)カ	・「言葉のたから箱」を参照したり、友達の発言を聞いたりして、感想を表す言葉を増やしている。 (1)イ(オ)

3 単元計画

	時	学習内容 (全9時間)	評価
第1次	1	○ 題名から物語の内容を想像するとともに、単元名、リード文から学習のめあてを確認し、物語を通読して初発の感想をもつことができる。 ・単元名、リード文から学習課題を設定し学習計画を立てる。 ・「不思議な出来事」が起きる本の並行読書始める。	【関】 紹介に向けて、意欲的に本を読もうとしている。 【読】 並行読書をするための本を選び、読んでいる。 [発言・ノート] [観察]
	2	○ 物語の組み立てについて知り、あらすじをもとに話し合っ、九つの場面を起承転結に分けることができる。 ・通読して話のあらすじをつかむ。 ・九つの場面を四つのまとまりに分ける。	【読】 場面の変化に気をつけて、四つのまとまりに分けている。 【読】 主人公の言動や気持ちを表す叙述に着目して読んでいる。 【読】 読み取ったことをもとに主人公の気持ちの変化について考えている。 【読】 考えたり想像したりした理由を、叙述をもとに説明している。
3	○ 1場面(不思議な出来事が起こる前)の「ぼく」の行動や会話から、叙述に即して人物像を確かめ、気持ちの変化を読み取ることができる。 ・「ぼく」の言動や気持ちを表す叙述を書き出し、その変化を考える。		
第2次	4・5	○ 「ぼく」の行動に着目して読み、話し合っ、「ぼくの気持ちの変化」を読み取る。 ・2場面から6場面の「ぼく」の気持ちの変化を読み取る。	
	6本時	○ 雨が降り出した後の「ぼく」の言動や心情を、叙述をもとに想像しながら読み、「ぼく」の気持ちの変化を読み取ることができる。 ・7場面の出来事の変化とともに、「ぼく」の心情の変化を叙述から読み取る。	
	7	○ 不思議な出来事が終わった後(8場面、9場面)のぼくの変化を叙述から読み取ることができる。 ・動物の言葉は聞こえなくなったが、動物が言いたいことを想像することができるようになった「ぼく」の変化を読み取る。	
第3次	8	○ 単元の学習を振り返り、「おもしろいな。」「すきだな。」と感じたことを交流することができる。 ・「ぼく」の行動や会話から読み取ってきたことをもとに、不思議な出来事が起こる前と後での「ぼく」の気持ちの変化や成長について交流し、感じ方や考え方の共通点や相違点についてまとめる。	【読】 友達の発表を聞いて、感じ方や考えの違いに気づいている。 【言】 感想を発表したり、紹介したりするために適切な言葉を用いている。
	9	○ これまで読んできた「不思議な出来事」が起きる本について紹介することができる。 ・紹介したい本について、紹介文を書く(ワークシート活用)	[発言・ノート]

<p>1 単元名 読んで、感じたことを発表しよう 教材名 「もうすぐ雨に」</p>	<p>4 本時の目標 雨が降り出した後の「ぼく」の言動や心情を、叙述をもとに想像しながら読み、「ぼく」の気持ちの変化を読み取ることができる。</p> <p>5 評価規準 【読】読み取ったことをもとに主人公の気持ちの変化について考えている。 【発言・ノート】</p>						
<p>2 児童の学力の状況 児童は日々の授業において、課題に意欲的に取り組み、特に算数科では考えを積極的に説明する態度が見られる。しかし国語科では、自分の考えに自信がもてず、最後まではっきり発言できない子どもが少なくない。問いを聞き取ったり表現したりする力に差がある。特に文章の叙述に即して心情を読み取り、自分の考えを分かりやすく言葉で表現することが苦手な児童が多くみられる。 総合学力調査の結果でも、国語の正答率が85.6%と全国比を上回っているにもかかわらず「文学的文章の内容・主題の理解」の正答率が36.8%（全国比-15.4）と低い。本校の課題であった基礎内容については全国比3.2と上昇しているが、心情の理解(-6.4)と合わせて、この読み取りが、本学年児童の課題である。 児童は2年での「スイミー」や「わたしはおねえさん」等で、主人公の行動や会話から心に残ったことを自分と比べて感想に書く学習をし、3年の「きつつきの商売」で場面の様子を読み取る学習を行っている。本単元では、物語の組み立ての学習の基礎を身に付けさせるとともに、主体的に感性豊かに読む児童を育てたいと考える。</p> <p>3 教材観 本教材は「こんなことがあったらいいな。」と思わせてくれるファンタスティックな世界を描いた物語である。児童は登場人物「ぼく」といっしょに、不思議な出来事に心を弾ませて読み進むであろう。「おもしろいな。」「すきだな。」と思ったところを主体的に見つける活動を通して、自分の考えを形成する学習を大事にしたい。その際、着目した叙述から、理由を引き出すだけでなく、気がついたり、感じたり、思ったことなども表現できる力をつけさせたい。また「不思議な出来事が起こる本」を並行読書させることで、文学作品に親しみ、ファンタスティックな世界を楽しみながら、物語を「起承転結」の流れを意識して読み取る力もつけたい。</p>	<p>6 本時の展開（6/9）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 50%;">学習展開 ・本時における願う児童の姿</th> <th style="width: 30%;">・願う児童の姿に迫る手立て ◇ 評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>導入 14:25</p> <p>課題設定 問いの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス ・キーワード ・言語わざ <p>見通し</p> <p>自力解決 14:43</p> <p>班学習</p> <p>全体学習 (考察) 14:48</p> <p>まとめ 15:00</p> <p>振り返り 15:05</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>1. 前時までの学習を振り返る。 どんな不思議な出来事が起こったのか、また前時で読み取った「ぼく」についても振り返る。</p> <p>2. 学習計画を見て、課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>文章中のことばから、主人公のぼくはどのように変化したのかを読み取ろう。</p> </div> <p>自力解決・班学習（10分） 全体学習・考察(12分) まとめ・ふり返り（5分）</p> <p>「～と思います。そのわけは～だからです。」「みんなに聞こえる声で、考えを伝え合う。」 (叙述に即して述べる)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自力解決の手順について確認する。 かえるのことを思いうかべているぼくのようすや気持ちをそうぞうしよう。</p> </div> <p>3. 自力解決をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>① 「ぼく」が心に思いうかべているところに赤線を引く。</p> <p>② 「ぼく」の様子について考え、ノートに書く。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> <p style="text-align: center;">学習すること</p> <p>① ぼくが思いうかべているところに赤線をひく。</p> <p>② ぼくのようすをそうぞうして書く。</p> </div> </div> <p>4. 班で伝え合う。 ① 文章中の言葉からぼくのどんな様子が分かるかをホワイトボードに書く。</p> <p>5. 全体で出し合い、まとめる。 ・同じところ・似ているところ・違うところなどを理由をつけて伝え合う。 — かえるのが好きになっている。 — かえるのがかわいいと思っている。 — たすけたかえるがきっと喜んでいと想像している。</p> <p>6. ぼくの変化について考察する。（「～なぼく」について考察する。） ・動物の気持ちが分かるようになったぼく。 ・かえるが喜んでるのがうれしいと思っているぼく。</p> <p>7. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ぼく」が、雨が降ってうれしそうにしているかえるを思いうかべている様子から、「ぼく」はどうぶつ の気持ちがわかるようにへんかしている。</p> </div> <p>8. 学習の振り返りを書く。 7段落でとうとう雨が降り出して、主人公のぼくはかえるが楽しそうにしているところを思い浮かべるくらい、かえるの気持ちがよく分かるように変わっていた。大きく変わった出来事は「ぼく」の心の成長だということが分かった。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>前時の学習のふり返りをする。 (ぶつぶつタイム)</p> <p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 ・中心人物 ・始まり（まえぶれ） ・出来事（事件）がおこる ・出来事（事件）が変化する ・むすび—出来事が解決する ・文章の言葉にそって読み取る ・行動 ・会話 <p>つきたい資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事が変化する場面(クライマックス)であることが抑えられている。 ・主人公の行動と心内の言葉を叙述から読み取れている。 <p>のばしたい感性・想像力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるの様子を想像している「ぼく」のころの様子を感じ取ることができる。 <p>全体学びで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出された意見を構造的に板書する。 <p>振り返りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・考えが変わったこと ・友達の考えから学んだこと ・次時に学習したいこと </td> </tr> </tbody> </table>		学習展開 ・本時における願う児童の姿	・願う児童の姿に迫る手立て ◇ 評価	<p>導入 14:25</p> <p>課題設定 問いの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス ・キーワード ・言語わざ <p>見通し</p> <p>自力解決 14:43</p> <p>班学習</p> <p>全体学習 (考察) 14:48</p> <p>まとめ 15:00</p> <p>振り返り 15:05</p>	<p>1. 前時までの学習を振り返る。 どんな不思議な出来事が起こったのか、また前時で読み取った「ぼく」についても振り返る。</p> <p>2. 学習計画を見て、課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>文章中のことばから、主人公のぼくはどのように変化したのかを読み取ろう。</p> </div> <p>自力解決・班学習（10分） 全体学習・考察(12分) まとめ・ふり返り（5分）</p> <p>「～と思います。そのわけは～だからです。」「みんなに聞こえる声で、考えを伝え合う。」 (叙述に即して述べる)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自力解決の手順について確認する。 かえるのことを思いうかべているぼくのようすや気持ちをそうぞうしよう。</p> </div> <p>3. 自力解決をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>① 「ぼく」が心に思いうかべているところに赤線を引く。</p> <p>② 「ぼく」の様子について考え、ノートに書く。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> <p style="text-align: center;">学習すること</p> <p>① ぼくが思いうかべているところに赤線をひく。</p> <p>② ぼくのようすをそうぞうして書く。</p> </div> </div> <p>4. 班で伝え合う。 ① 文章中の言葉からぼくのどんな様子が分かるかをホワイトボードに書く。</p> <p>5. 全体で出し合い、まとめる。 ・同じところ・似ているところ・違うところなどを理由をつけて伝え合う。 — かえるのが好きになっている。 — かえるのがかわいいと思っている。 — たすけたかえるがきっと喜んでいと想像している。</p> <p>6. ぼくの変化について考察する。（「～なぼく」について考察する。） ・動物の気持ちが分かるようになったぼく。 ・かえるが喜んでるのがうれしいと思っているぼく。</p> <p>7. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ぼく」が、雨が降ってうれしそうにしているかえるを思いうかべている様子から、「ぼく」はどうぶつ の気持ちがわかるようにへんかしている。</p> </div> <p>8. 学習の振り返りを書く。 7段落でとうとう雨が降り出して、主人公のぼくはかえるが楽しそうにしているところを思い浮かべるくらい、かえるの気持ちがよく分かるように変わっていた。大きく変わった出来事は「ぼく」の心の成長だということが分かった。</p>	<p>前時の学習のふり返りをする。 (ぶつぶつタイム)</p> <p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 ・中心人物 ・始まり（まえぶれ） ・出来事（事件）がおこる ・出来事（事件）が変化する ・むすび—出来事が解決する ・文章の言葉にそって読み取る ・行動 ・会話 <p>つきたい資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事が変化する場面(クライマックス)であることが抑えられている。 ・主人公の行動と心内の言葉を叙述から読み取れている。 <p>のばしたい感性・想像力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるの様子を想像している「ぼく」のころの様子を感じ取ることができる。 <p>全体学びで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出された意見を構造的に板書する。 <p>振り返りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・考えが変わったこと ・友達の考えから学んだこと ・次時に学習したいこと
	学習展開 ・本時における願う児童の姿	・願う児童の姿に迫る手立て ◇ 評価					
<p>導入 14:25</p> <p>課題設定 問いの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス ・キーワード ・言語わざ <p>見通し</p> <p>自力解決 14:43</p> <p>班学習</p> <p>全体学習 (考察) 14:48</p> <p>まとめ 15:00</p> <p>振り返り 15:05</p>	<p>1. 前時までの学習を振り返る。 どんな不思議な出来事が起こったのか、また前時で読み取った「ぼく」についても振り返る。</p> <p>2. 学習計画を見て、課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>文章中のことばから、主人公のぼくはどのように変化したのかを読み取ろう。</p> </div> <p>自力解決・班学習（10分） 全体学習・考察(12分) まとめ・ふり返り（5分）</p> <p>「～と思います。そのわけは～だからです。」「みんなに聞こえる声で、考えを伝え合う。」 (叙述に即して述べる)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自力解決の手順について確認する。 かえるのことを思いうかべているぼくのようすや気持ちをそうぞうしよう。</p> </div> <p>3. 自力解決をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>① 「ぼく」が心に思いうかべているところに赤線を引く。</p> <p>② 「ぼく」の様子について考え、ノートに書く。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> <p style="text-align: center;">学習すること</p> <p>① ぼくが思いうかべているところに赤線をひく。</p> <p>② ぼくのようすをそうぞうして書く。</p> </div> </div> <p>4. 班で伝え合う。 ① 文章中の言葉からぼくのどんな様子が分かるかをホワイトボードに書く。</p> <p>5. 全体で出し合い、まとめる。 ・同じところ・似ているところ・違うところなどを理由をつけて伝え合う。 — かえるのが好きになっている。 — かえるのがかわいいと思っている。 — たすけたかえるがきっと喜んでいと想像している。</p> <p>6. ぼくの変化について考察する。（「～なぼく」について考察する。） ・動物の気持ちが分かるようになったぼく。 ・かえるが喜んでるのがうれしいと思っているぼく。</p> <p>7. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ぼく」が、雨が降ってうれしそうにしているかえるを思いうかべている様子から、「ぼく」はどうぶつ の気持ちがわかるようにへんかしている。</p> </div> <p>8. 学習の振り返りを書く。 7段落でとうとう雨が降り出して、主人公のぼくはかえるが楽しそうにしているところを思い浮かべるくらい、かえるの気持ちがよく分かるように変わっていた。大きく変わった出来事は「ぼく」の心の成長だということが分かった。</p>	<p>前時の学習のふり返りをする。 (ぶつぶつタイム)</p> <p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 ・中心人物 ・始まり（まえぶれ） ・出来事（事件）がおこる ・出来事（事件）が変化する ・むすび—出来事が解決する ・文章の言葉にそって読み取る ・行動 ・会話 <p>つきたい資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事が変化する場面(クライマックス)であることが抑えられている。 ・主人公の行動と心内の言葉を叙述から読み取れている。 <p>のばしたい感性・想像力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるの様子を想像している「ぼく」のころの様子を感じ取ることができる。 <p>全体学びで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出された意見を構造的に板書する。 <p>振り返りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・考えが変わったこと ・友達の考えから学んだこと ・次時に学習したいこと 					

